

**答弁** 神代地区へのアンケート調査において、上水道事業に加入する方々は非常に少なかった。安全な水を供給することは、必要であり、現在角館浄水場の高速ろ過機の整備を順次すすめている。神代地区への供給のため、住民へ必要性の認識を高める努力を行い、事業につなげていきたい。

**質問** 仙北市の不登校の現状と対策について伺う。

**答弁** 不登校の現状は小学生はわずかであるが中学生になると10数名という状況である。不登校が再登校にこぎつけると、新たに不登校が出てくるという一進一退を繰り返している。中学生の特徴として思春期の急激な変化から来るもので、特に対人関係、進路の悩みなどが多い。対策として、保護者と学校、スクールカウンセ

ラーの連携により対応指導を行っている。不登校により学校に行けない間、学習をサポートするため「さくら教室」を開いて学習が遅れないよう相談員を中心に子供達と一緒に進めている。

**質問** 仙北市の危機管理対策について伺う。

**答弁** 役所は役に立つて初めて役所であるとの気持を忘れず、今起きている事象に対する対応能力だけでなく、起こる可能性を洞察でき



市民の安全を守る環境防災課

る体制に整えたい。職員自ら課題に対し、先取りして進展していく

対応能力を上げる職員体制の仕組みづくりに取り組んでまいりたい。

## 観光部の独立は？

十分検討吟味して結論出したい！



## 戸澤 清

**質問** 地方分権により市における自己決定権と自己責任の拡大がなされた。従って市当局と議会の果たす役割と責任も益々大きくなって来ている。合併後の新市を

市民生活の安定の為にどう着実に進めるかと、大変な時であり、総力結果で向かわなければならぬ。

それには市当局と議会の連携関係がポイントであるが、今の状況ではその構築がされていないと感ずる。議会との連携による総力結集という観点から市政推進について市長の所見を伺う。



検討されるか？観光部

**答弁** 市政推進の姿勢についてはご指摘の通り、議会と行政当局の連携は必要不可欠なものとの認識でおります。こうした質問を頂くと

う事は、現実として不足している面があるという事だと認識をし、今後、心して議会との連携を図りながら市政を進めて行きたい。

**質問** 現在の産業観光部を「産業」と「観光」をそれぞれ独立させた形で取り組みの強化を図らなければならぬと思う。産業と観光は仙北市にあって最も重要な分野の一つで、政策の要である。産業観光部を産業部と観光部に改編し、各々の活動や情報収集・発信をし充実を図った上で連携を取る方が、はるかに実面でやり易いのではないのか。所見を承りたい。

**答弁** 分庁舎方式の中で産業観光部として、そこには農林課がある。一方観光課と商工課は角館中町庁舎にあり、その組織の運営の仕方、あり方についての課題を抱えていると認識している。行革、組織のスリム化という方向の中で、出来るだけ部はふやさない方向でいきたい。

**質問** 産業の農業について、地域主導で思い切ったやり方をする時代に果たと思う。新年度では農業に重点を置いて集中した取り組みが出来ないのか。

**答弁** 仙北市は何と云っても農業が中心の地域であり、それはいかに地域の経済に生かしていくか、という事で産業連携を取り組んでいる。市単独で出来ない部分も多いが、集中と選択という方向で農業を取り上げてまいりたい。

**質問** 産業観光部を産業部と観光部に改編し、各々の活動や情報収集・発信をし充実を図った上で連携を取る方が、はるかに実面でやり易いのではないのか。所見を承りたい。